(別添資料1)

事業所名

さずな・リアン

支援プログラム

作成日

2025 年

5 月

30 日

法人（事業所）理念	個々を大切にし、さまざまな活動を通じて、心と心を通い合い、共につながり合える場所にします				
支援方針	利用者が生活能力の向上のために必要な支援を行い、社会との交流が図ることができるよう、事業所において適正かつ効果的な指導・支援を行うものとする				
営業時間	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無 ○あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	学校⇒通所することで生活リズムを整え、利用時には体温測定や利用ノートなどにより健康状態の把握を行う。また、普段からの身だしなみチェックを行うなどの支援を実施する。			
	運動・感覚	日常生活の中での座位・歩行時の姿勢などを観察する。また、遊具やマット・バランスボールを使つての運動動作の向上ができるよう支援を行う。			
	認知・行動	個々のレベルにあった課題プリントの提供やPCタイピングなどの学習支援。また、ものを見て手先を動かす課題などの動作支援。活動中での人との関わりにおいての自己コントロール及び社会的なルールやマナーの習得を目指す支援を行う。			
	言語 コミュニケーション	適切なコミュニケーション能力の習得や自己表現力の向上を目指す支援を行う。			
	人間関係 社会性	対人関係や社会性の向上を図るための集団活動の実施。また、地域での買い物体験や様々な施設利用・公共交通機関の利用を繰り返し自信や意欲に繋がる支援を行う。			
家族支援	支援計画更新時（6ヵ月毎）保護者との懇談の実施や送迎時、今後の支援方向性を話し合う。また、支援に関する情報を共有していく。	移行支援	買い物体験や様々な施設利用、公共交通機関を利用するなど自立に向けての支援を行う。		
地域支援・地域連携	学校や相談支援員など関係諸機関との連携をし、情報共有を行う。	職員の質の向上	事業所内の研修や外部研修に参加し、職員のスキルアップを行う。		
主な行事等	節分・ひな祭り・子どもの日・ハロウィン・お正月・夏まつりなど季節行事の実施。また、他事業所や地域催し物等の行事への参加を行う。				